

道産こもり179大学in津別-当事者研究大会-

人口約5,000人の網走郡津別町が大阪市立大学大学院との共同で行なった調査で55世帯のひきこもり当事者がいることが推計されました。これを受けて津別町では地域住民と専門職が協働して地域の中に総合相談の拠点をづくり、ひきこもりといった社会的に孤立し生活が困窮している人たちをサポートしていこうとしています。北海道ひきこもり当事者連絡協議会設立事業では、津別町・社会福祉法人津別町社会福祉協議会のバックアップのもと、「道産こもり179大学」を初めて網走郡津別町で開催することになりました。ひきこもりという貴重な経験的知識をこれからの町をつくる新たな価値に転換していきたいと考えています。生きにくさを覚え日々がき苦しむ私たちと同じ仲間であるひきこもり当事者が一人でも多く参加されることを願っています。ぜひいらしてください! お待ちしています。

※道産こもり179大学の由来:「道産子」と「ひきこもり」をあわせて「道産こもり」、179は北海道の市町村数を指す。全道のひきこもり当事者、またはひきこもり経験者の知恵を集めた大学という意味。

I 時限目 『荒れ野の40年過程学部おこもり福祉哲学科』

講師 蔵谷 俊夫(Toshio Kuraya)先生



プロフィール

子どもの頃より人見知りする性格があり大学卒業後、就職活動に展望が見いだせないまま、ひきこもり支援施設に入所する。紆余曲折の結果、広汎性発達障害の診断を受け2016年2月から一般企業に就く。「道産こもり179大学」の命名者として活動进行。

II 時限目 『ポジティブ・スパイラル創造学科』

講師 マインド(Mind)先生



プロフィール

大学生活後半、就職活動に直面し無能感と劣等感を感じ、就職活動をしないうまま卒業、ひきこもり状態となる。その状況の中で、今まで見えていなかった「人生」という課題に気づき、問答を繰り返す。「わたし」「家族」「社会」の関係を考え、生の構想の構築と適応を目指す。今年から当事者会「NAGI」へ参加。

III 時限目 各グループの交流及び全体のシェア

司会進行 田中 敦(特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク)

と き 平成28年11月12日(土) 13:30~16:30

ところ 津別町中央公民館2階 研修室

住所:〒092-0224 網走郡津別町字豊永5番地1

交通機関:北見市から車で約40分、北見バス(開成津別線)津別町役場下車 徒歩5分

美幌町から車で約25分、北見バス(美幌津別線)津別町役場下車 徒歩5分

参加対象:ひきこもり当事者経験者とその家族、支援者など 参加費:お一人につき500円(資料代) 当事者経験者は無料

定員:50名(参加希望多数の場合は先着順になります)

申込み方法:裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、Eメールまたは、FAXでお送り下さい。11月7日(月)締切

主催

特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

後援

津別町/社会福祉法人津別町社会福祉協議会

問合せ先

本部事務局 特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

〒064-0824 札幌市中央区北4条西26丁目3番2号

TEL090-3890-7048[担当:田中] e-mail info@letter-post.com URL http://letter-post.com/

現地事務局 社会福祉法人津別町社会福祉協議会

〒092-0235 網走郡津別町字幸町27番地2

TEL0152-76-1161[担当:山田] FAX 0152-75-5043 e-mail yamada-hidetaka@tsubetsu-shakyo.or.jp

北海道ひきこもり当事者連絡協議会設立事業
道産こもり179大学in津別-当事者研究大会-

参加申込書

住　　所	〒		
氏　　名			名
電話番号			
E - m a i l			
所　　属	・ 当事者 ・ 親、家族 ・ 支援者 ・ 一般市民 ・ 学生 ・ その他（ ）		
当日お聞き したい質問 事項など			

FAX 011-271-5804 (受付時間 午前9時から午後7時まで)
E-mail info@letter-post.com